

り商店会などの活動を支援するほか、店舗リフォーム補助金により集客力やサービス向上を図るための店舗などの改修を支援するとともに、商談会等出展補助金により販路拡大の取り組みを支援します。

また、起業などによる地域経済の活性化も重要ですので、登別商工会議所や金融機関との連携を図り、行政を含めた関係機関が一体となって起業家へのきめ細やかな支援を行う『創業支援事業計画』の策定に向け、取り組んでいきます。

### ○再生可能エネルギーの普及促進

再生可能エネルギーに対する理解の促進のため、登別市ネイチャーセンター敷地内の水路に学習用の小水力発電装置を設置し、市内外から訪れる方を対象に環境学習を実施していきます。

また、温泉熱などの利活用について、平成27年度に国の補助制度を活用して実施した温泉の温度や湯量などの基礎調査の結果を踏まえ、有効活用の可能性について調査・研究を進めていきます。

### ○登別ブランドの取り組み

引き続き、高品質な加工食品の認定やご当地グルメである登別閻魔えんまやきそばのPRを行うとともに、新た

に、市民や観光客が勧める登別の商品や製品などの掘り起こしを目指す閻魔大王おすすめの逸品事業に取り組む登別ブランド推進協議会を支援し、産業の活性化やまちのイメージ向上に取り組んでいきます。



▲登別市の食材などを使った市のご当地グルメ『登別閻魔やきそば』

さらに、地域資源を活用した商品などを応援し、地域ブランドの創出を目指す中小企業地域資源活用促進法に基づくふるさと名物応援宣言に取り組んでいきます。

市内には、道内でもトップクラスの乳質を誇る生乳をはじめ、登別牛やホエーで育てたのぼりべつ豚などが生産されているほか、漁港からは

サケや毛ガニ、ホッキ貝など、年間を通じて新鮮な海の幸が水揚げされています。

また、有害鳥獣として捕獲されるエゾシカが、食肉として有効活用されるなど、恵まれた自然を背景とした良質な一次産品が生み出されています。

この良質な資源を地域内で流通させるとともに消費の促進を図るため、市内で実施されるイベントなどの機会を捉え、生産者などと協力してPRに努めるとともに、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図るなど、地域の食材としての認知度を高め、一次産品の価値が高まるよう普及に努めます。

### ○産業を担う人材の育成

昭和57年の開校以来、市内唯一の専門学校として、多くの優秀な人材を輩出するとともに、教員や在校生が、まちづくりやイベントへ積極的に参画し、当市のまちづくり活動の一端を担っていただいている日本工学院北海道専門学校が行う魅力を高める取り組みを支援していきます。

また、日本工学院北海道専門学校と幅広い分野で綿密な連携関係を築き、学校が持つノウハウや企画力、学生が持つスキルや行動力を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

## 豊かなみどりと

### 都市機能が調和した

#### まちづくり

良好な景観や豊かなみどりの中で安心して暮らせるよう、各地域の特性を生かした都市機能の整備を進める

人口減少社会において、市街地の拡大は都市機能の拡散を招き、都市整備の効率性と市民生活の利便性の低下につながりかねません。

これまでも適正な土地利用のもと、合理的でバランスの取れた都市施設の配置について努めてきましたが、今後はさらにまとまりのあるコンパクトなまちづくりが求められます。

そのため、第3期基本計画の推進においては、市内の各地域の特性を再認識し、地域の魅力を前面に出したまちづくりが必要です。

そこで、まずは、市の中心地にごのような機能が求められるのか、行政機関や商業施設など中心地が持つべき機能などについて、市民や各種団体などの意見をお聞きしながら整理し、中心地を含めた各地域の将来あるべき姿を明確にしたうえで、必要な整備に向け準備を進めていきます。